

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 6 月 2 4 日

鹿児島地方裁判所民事第 3 部

裁判所書記官 豆 田 光

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7 年 7 月 9 日から 令和 7 年 7 月 1 6 日まで
開札期日	日 時 令和 7 年 7 月 2 3 日 午前 9 時 0 0 分 場 所 鹿児島地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 7 年 8 月 6 日 午前 1 0 時 0 0 分 場 所 鹿児島地方裁判所民事第 3 部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 農林中央金庫, 株式会社商工組合中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則 3 3 条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7 年 6 月 2 4 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和 6 年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	10, 030, 000 8, 024, 000	一括	2, 006, 000	49, 416	15, 835
1	5, 420, 000				
2	4, 610, 000				
				</	



物 件 目 録

- | | | |
|---|-----|--------------|
| 1 | 所 在 | 鹿児島市田上台四丁目 |
| | 地 番 | 2500番36 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 205.74平方メートル |
-
- | | | |
|---|-------|----------------------------------|
| 2 | 所 在 | 鹿児島市田上台四丁目2500番地36 |
| | 家屋 番号 | 2500番36 |
| | 種 類 | 居宅・車庫 |
| | 構 造 | 木造セメント瓦葺2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 86.71平方メートル
2階 36.48平方メートル |
- (現況)
- | | | |
|--|-------|-------------------------------------|
| | 床 面 積 | 1階 約106.71平方メートル
2階 約71.48平方メートル |
|--|-------|-------------------------------------|



物 件 明 細 書

令和 7 年 5 月 28 日

鹿児島地方裁判所民事第3部

裁判所書記官 豆 田 光

1 不動産の表示

【物件番号 1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号 1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号 2】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実とそれに基づく法律判断に関して、裁判所書記官の一応の認識を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。



- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。
(このほか、B I Tのお知らせメニューにも登載されています。)



11

物 件 目 録

- 1 所 在 鹿児島市田上台四丁目
地 番 2500番36
地 目 宅地
地 積 205.74平方メートル
- 2 所 在 鹿児島市田上台四丁目2500番地36
家屋 番号 2500番36
種 類 居宅・車庫
構 造 木造セメント瓦葺2階建
床 面 積 1階 86.71平方メートル
2階 36.48平方メートル
(現況)
床 面 積 1階 約106.71平方メートル
2階 約71.48平方メートル



令和6年(ケ)第94号
令和7年1月31日受理
令和7年3月18日提出

現況調査報告書

鹿児島地方裁判所

執行官 岩 田 一 重 (印)

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|----------------------------------|
| 1 | 所 在 | 鹿児島市田上台四丁目 |
| | 地 番 | 2500番36 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 205.74平方メートル |
| 2 | 所 在 | 鹿児島市田上台四丁目2500番地36 |
| | 家屋 番号 | 2500番36 |
| | 種 類 | 居宅・車庫 |
| | 構 造 | 木造セメント瓦葺2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 86.71平方メートル
2階 36.48平方メートル |

不動産の表示	「物件目録」のとおり	
住居表示	鹿児島市田上台四丁目14-12	
土地	物件1	
現況地目	☒ 宅地（物件1） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ （物件 ）	
形状	☒ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり	
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
下記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）	
その他の事項	従物等としてアンテナ柱が存する。	
建物	物件2	
種類、構造及び床面積の概略	☐ 公簿上の記載とほぼ同一である ☒ 公簿上の記載と次の点異なる（ ☒ 主である建物 ☐ 附属建物） ☐ 種類： ☐ 構造： ☒ 床面積：1階 約106.71㎡（約20㎡増築） 2階 約 71.48㎡（約35㎡増築）	
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある 種類： 構造： 床面積：	
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を住居として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
上記以外の敷地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）	
その他の事項	従物等として太陽光パネル及びスチール製簡易物置が存する。	
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある 地方裁判所 支部 平成 年()第 号 保管開始日 平成 年 月 日	
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
本件所有者	1 本件建物は、私が家族とともに居宅として利用しています。 2 本件建物についてシロアリ被害は気づきませんが、雨漏りがあります。 2階にサンルームがありますが、大雨の時等に外から吹き込んだ雨が当該サンルーム部分から1階の玄関や居室部分に漏ってくるのだと思います。 3 本件建物内では猫を1匹飼っています。室内には猫によるひっかき傷も多少あります。 4 本件建物に設置している太陽光パネルは、銀行で生活費名目で借りたお金で設置したものですので、所有権留保等はありません。 5 2階のベランダに設置しているさしかけは、台風の際にアクリル板が剥がれてしまい、骨組みだけになっています。 6 階段の窓に設置している雨戸は固定されておらず、風が強い日には戸が風に煽られてバタバタします。 7 今までに土地の境界のことで問題になったことはありません。

執行官の意見

(物件1 関係)

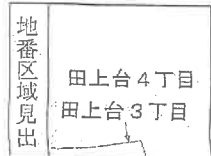
- 1 本件土地は市道（登記簿上2500番の土地は、鹿児島市名義の公衆用道路である。）に接面している。
- 2 本件土地と周辺隣接地との境界は、外観上概ね明瞭である。

(物件2 関係)

- 1 本件建物は、玄関や1階居室部分で雨漏りがするとのことであった（写真6、9）。本件所有者によると2階のサンルーム部分から雨漏りをしているのではないかとのことであった。
- 2 外壁や基礎に薄いクラックが見られた（写真4、5）。
- 3 本件建物内で猫を1匹飼育しており、内壁に猫によるひっかき傷が見られた（写真13）。
- 4 2階のベランダに設置しているさしかけはアクリル板が剥がれており、骨組みだけになっていた。

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
7 年 2 月 5 日 ： ー ：	執行官室	当事者宛照会書送付 市役所宛税務資料交付申請
7 年 2 月 7 日 9：45－10：00	物件所在地	物件確認、本件所有者の妻と面談
7 年 2 月 1 4 日 13：45－15：00	物件所在地	立入調査、本件所有者と面談
7 年 3 月 1 3 日 9：35－9：40	鹿児島県方法務局	土地全部事項証明書（2500番）交付申請
年 月 日 ： ー ：		
年 月 日 ： ー ：		
年 月 日 ： ー ：		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり



(6 枚目)

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
(鹿児島県方法務局管轄)
令和6年12月2日 福岡法務局

令和6年12月2日

福岡法務局

製品名

A3判をA4判に縮小した

請求番号：45-2

1026

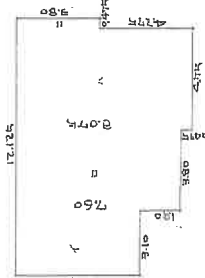
圖面平階各

圖面
圖面
物階
建各

2500-36

鹿兒島市田上台四丁目2500番地36

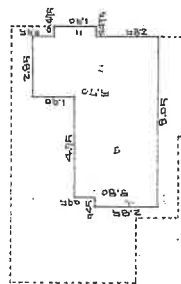
各階平面図



五

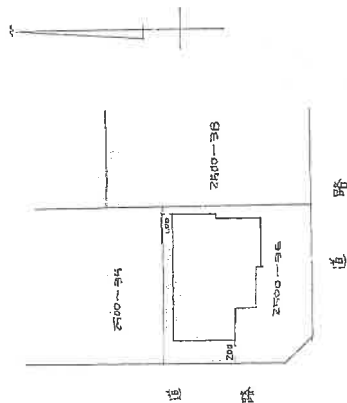
$$\begin{array}{r} 5.50 \times 3.10 = 17.5700 \\ 17.60 \times 3.80 = 28.8800 \\ 8.045 \times 4.75 = 38.35625 \\ 3.80 \times 0.475 = 1.8050 \\ \hline 86.71125 \\ \div 86.71 \text{ m}^2 \end{array}$$

23



1	235k	x	0.4k	=	1.287k
5	350	x	41k	=	13.0400
1	510	x	23k	=	16.2420
1	1.90	x	0.47k	=	0.902k
					36.4800
					+ 36.48m

面
区
物
建



(日調連12)

作者製

縮尺 $\frac{1}{250}$

申請人

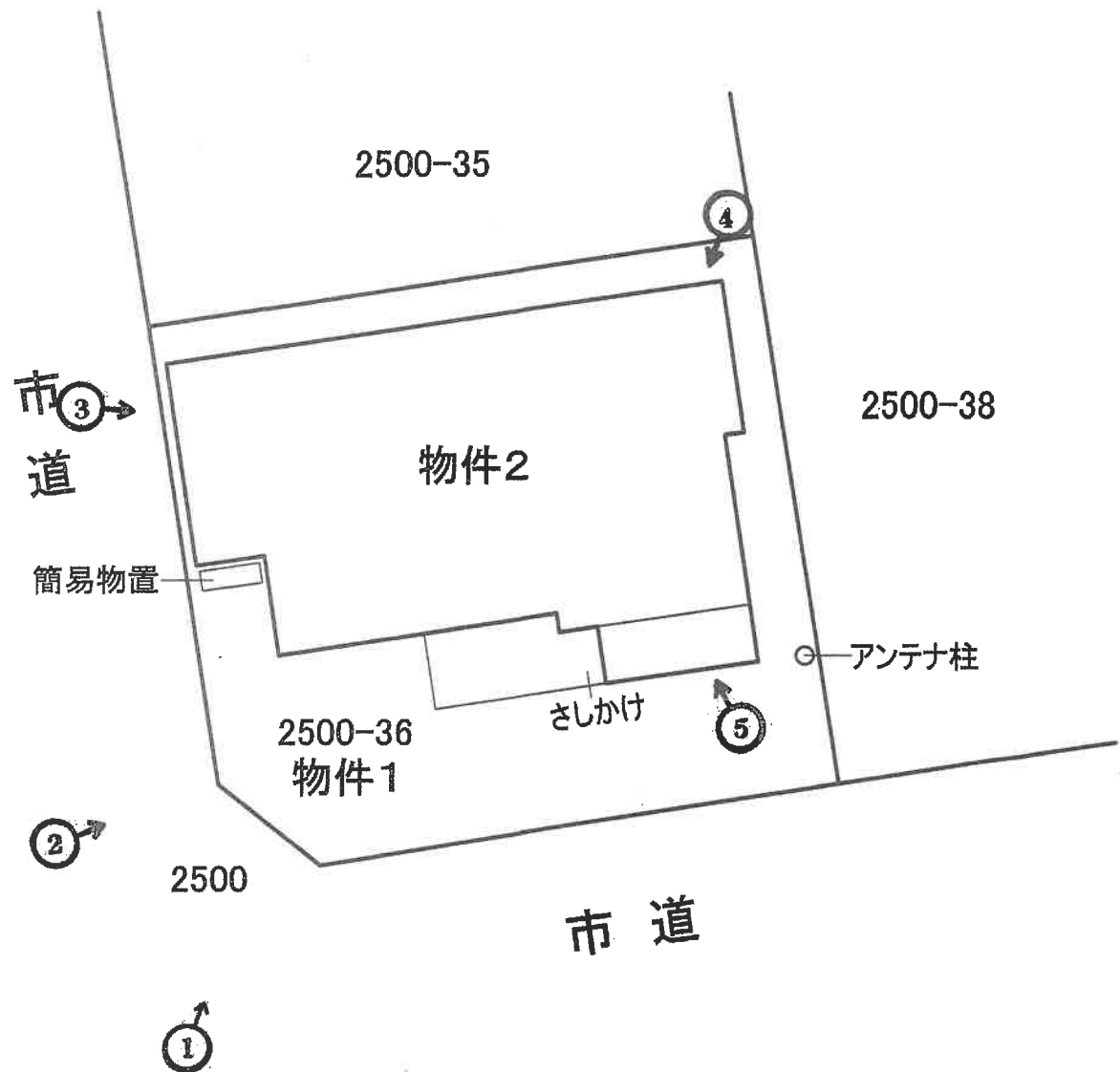
縮尺

~~1/20~~

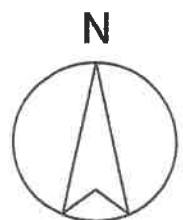
(日本土地家屋調査士会連合会用紙)

(目錄)

土地建物位置関係図



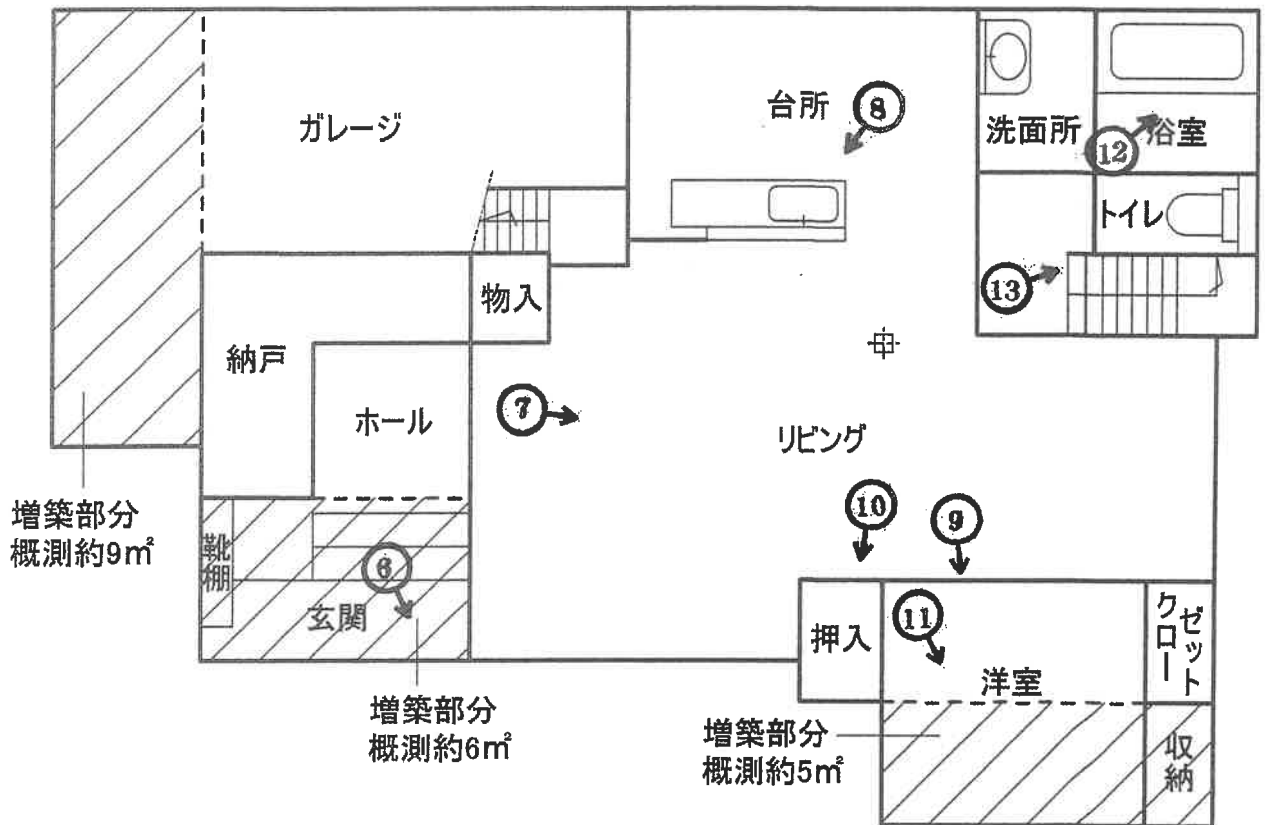
↑
○ 写真番号及び撮影場所



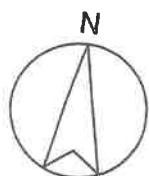
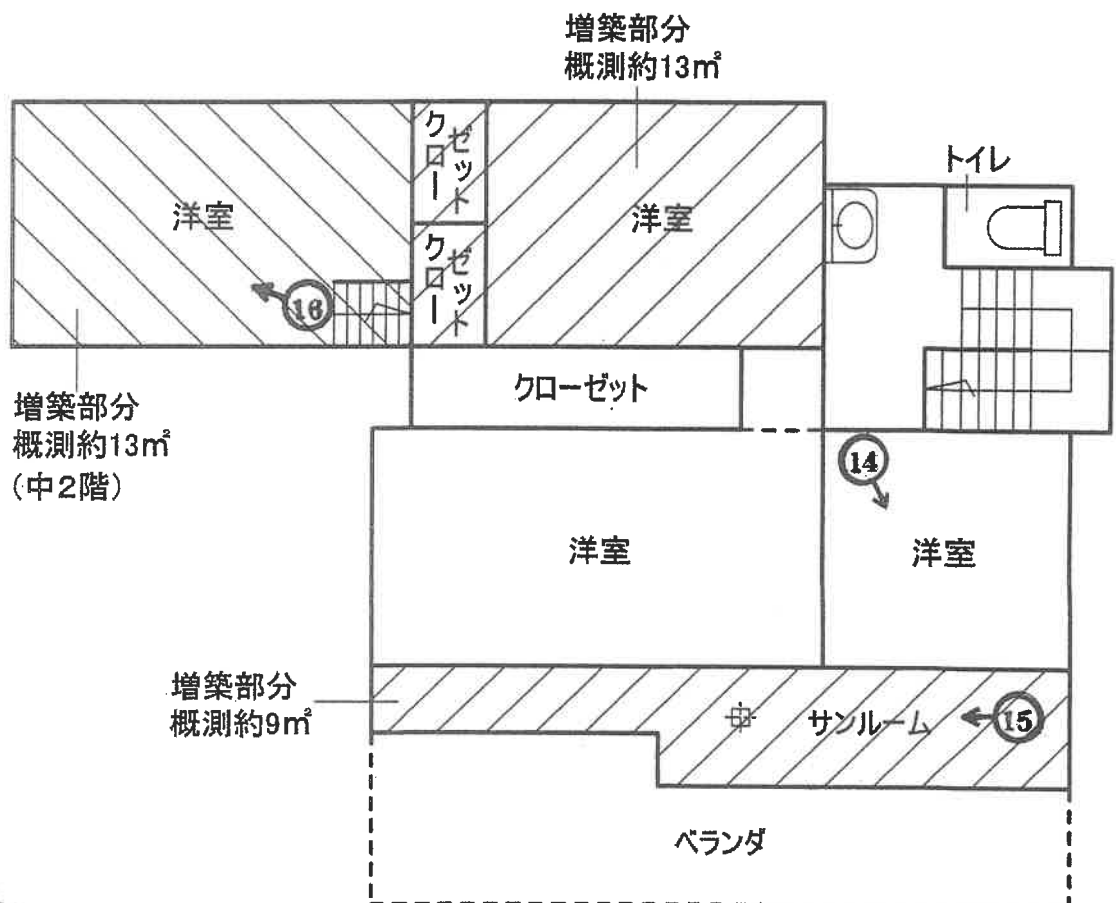
※ 本図面は概略図であり、正確なものではありません。

建物間取図

1 階



2 階



※ 本図面は概略図であり、正確なものではありません。

写真1



写真2



写真3 車庫



写真4

外壁のひび割れ



(11枚目)

写真5

基礎のひび割れ



写真6 物件2内部

雨漏りによる天井材にできた染み



写真7



写真8



写真9

雨漏りをすると当事者が指摘した部分

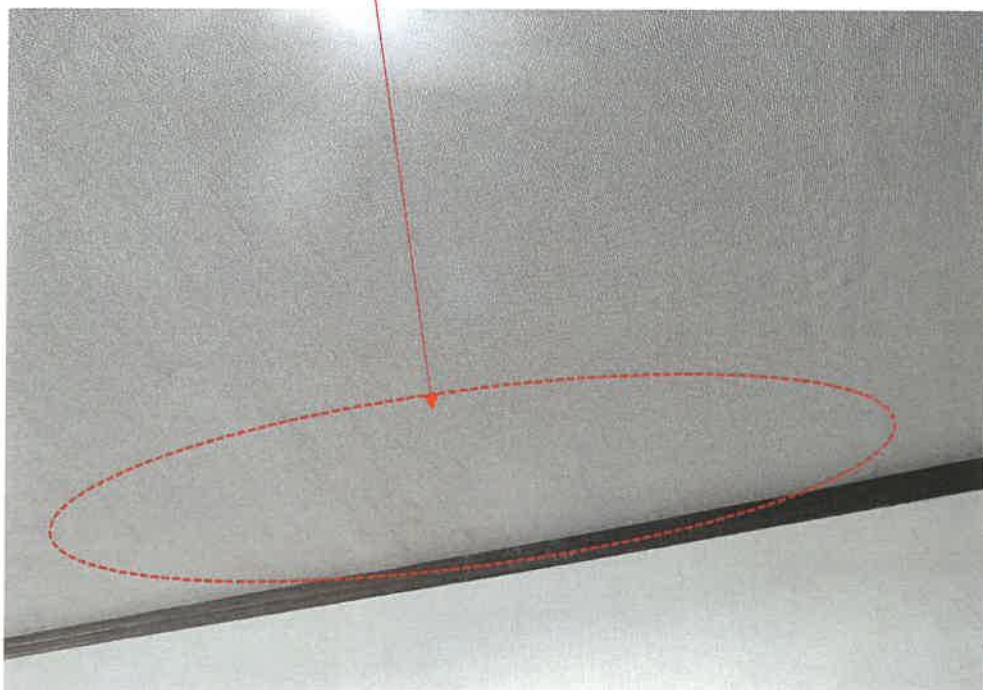


写真10

クロス剥がれ



写真11



写真12



写真13

猫によるひっかけ傷

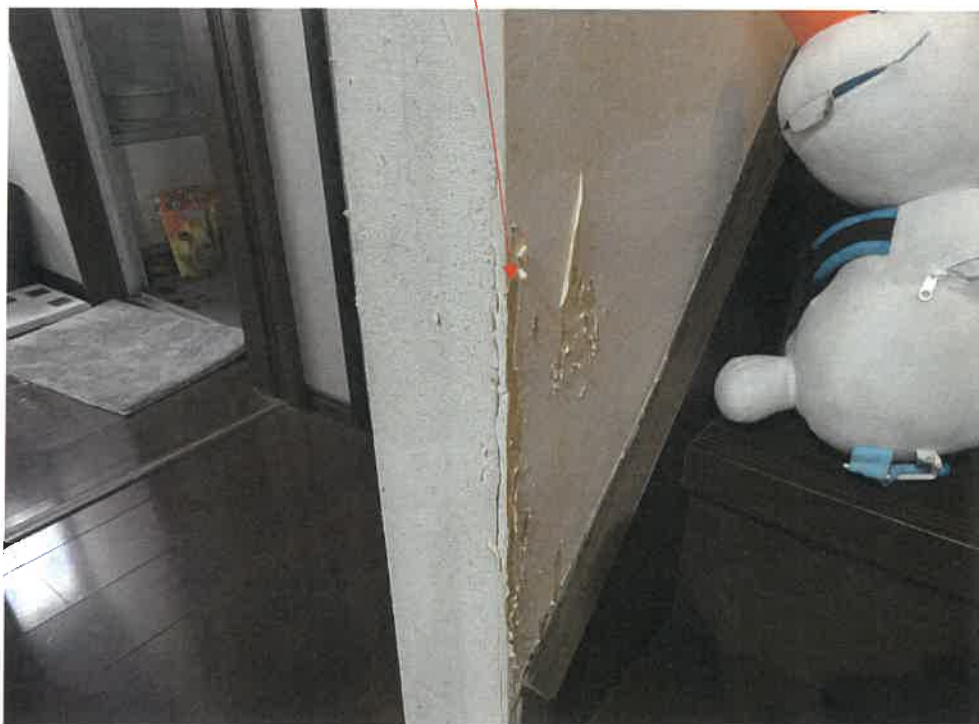


写真14



写真15 サンルーム



写真16 中2階洋室



令和 6年 (ケ) 第 94号
令和 7年 2月 14日 現地調査
令和 7年 3月 17日 評 価

鹿児島地方裁判所 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士
石 田 修

第1 評価額

一 括 価 格	
金 10,030,000 円	
内 訳 価 格	
物件1（土地）	金 5,420,000 円
物件2（建物）	金 4,610,000 円

- 1 一括価格は、物件1、2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

1. 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。

したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
2. 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については考慮していない。
3. 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
4. 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、登記記載とほぼ同じ。

番号	所在等	登記	現況
1	所在地 地目 地積	鹿児島市田上台四丁目 2500番36 宅地 205.74 m ²	
2	所在 家屋番号 種類 構造 床面積	鹿児島市田上台四丁目2500番地36 2500番36 居宅・車庫 木造セメント瓦葺2階建 1階 86.71 m ² 2階 36.48 m ²	1階 約 106.71 m ² 2階 約 71.48 m ²
番号	特記事項		
	① 物件2建物は増築を行っており、床面積を前記のとおり概測した。		

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位 置 ・ 交 通	J R鹿児島本線「広木」駅の南東方 約1.3km 「田上団地中央」バス停の南西方 約90m 広木小学校の北西方 約950m （いずれも直線距離 別添位置図参照）	
付 近 の 状 況	受命物件の存する地域は、広木小学校の北西方約950m付近に位置する一般住宅を中心とした住宅地域である。今後も現状で推移していくものと予測される。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 （道路の幅員等の 個別的な規制を考 慮しない一般的な 規制）	都市計画区分 用途地域 建 ぺ い 率 容 積 率 防 火 規 制 その他の規制	市街化区域 第一種低層住居専用地域 50% 80% ない ない
画 地 条 件	地積 : 205.74 m ² 規模 : ほぼ標準的 間口 : 約15m 奥行 : 約14m 形状 : ほぼ正方形 地勢 : 概ね平坦 高低差 : 南側市道より約0～1.2m程度高い 接面道路との関係 : 角地	
接 面 道 路 の 状 況	南 約9.5m舗装市道（建築基準法上の道路である） 西 約7m舗装市道（建築基準法上の道路である）	
土 地 の 利 用 状 況 等	土地の状況は現況調査報告書記載のとおり。 隣接地は戸建住宅である。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道 : あり ガ ス 配 管 : あり 下 水 道 : あり	
土 壌 汚 染 の 可 能 性 の 調 査	現地調査、当事者等からの聴取によると土壌汚染をうかがわせる事実 は認められなかった。ただし、評価人としての調査には限界があり、 詳細については専門家による調査を要する。	
特 記 事 項	① 物件1土地の全域に物件2建物の法定地上権が及ぶ。 ② 物件1土地にアンテナ柱が存するが経済的価値はない。	

2 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数等	建築年月日（登記記載）： 昭和61年5月18日新築 経過年数： 約 39 年 経済的残存耐用年数： 0 年
仕 様	構 造： 木造2階建 屋 根： セメント瓦等 外 壁： サイディング等 内 壁： ビニールクロス等 天 井： ビニールクロス等 床： フローリング等 設 備： 電気、水道、トイレ等 そ の 他： サンルーム、ベランダ、太陽光発電システム
床面積（現況）	1階： 約 106.71 m ² （概測 約20m ² 増築、建物間取図参照） 2階： 約 71.48 m ² （概測 約35m ² 増築、建物間取図参照） 計： 約 178.19 m ²
現況用途等	現況用途： 居宅・車庫 間取り： 建物間取図参照
品 等	使用資材： 普通 施工状態： 中位
保守管理の状況	保守管理の状況は概ね普通
建物の利用状況	現況調査報告書記載のとおり。
特記事項	① 物件2建物は増築を行っており、概測によると建ぺい率、容積率は次の通り超過している。 ・建ぺい率： $106.71\text{m}^2 \div 205.74\text{m}^2 \approx 52\%$ ・容積率： $178.19\text{m}^2 \div 205.74\text{m}^2 \approx 87\%$ なお、増築部分については、経済的耐用年数を既に経過しているものと判断した。 ② 従物等として簡易物置が存するが経済的価値はない。 ③ 2階ベランダのさしかけは骨組のみでパネルはなく、風雨は凌げない。 ④ 建物内で猫を飼っており、内壁にひっかき傷が認められる。 ⑤ 1階の玄関付近に雨漏り跡が認められる。 ⑥ 基礎部分や外壁に亀裂箇所が複数認められる。 ⑦ 白アリ被害については詳細不明。評価人としての調査には限界があり詳細については専門家による調査を要する。 ⑧ 当該建物は、建築時期・構造・種類等の要因を踏まえ現場調査を行った結果、アスベストを含有する建材等が使用されている可能性は否定できない。詳細については専門調査機関の分析調査を要する。 ⑨ 詳細については現況調査報告書記載のとおり。

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

(1) 建付地価格（物件1）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個 別 格 差 イ	地 積 (㎡) ウ	建 付 減 価 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ
1	68,600	1.11	205.74	0.90	14,099,000

ア. 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価調査 鹿児島ー17

公 示 価 格 等 時点修正 標準化補正 地域格差 標準画地価格
 $72,000 \text{ 円/㎡} \times 100.0 / 100 \times 100 / 106 \times 100 / 99 = 68,600 \text{ 円/㎡}$

◇ 時 点 修 正 : 公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇ 標 準 化 補 正 : 方位 (+6)

◇ 地 域 格 差 : 街路条件 接近条件 環境条件 行政的条件 地域格差
 $0.99 \times 1.00 \times 1.00 \times 1.00 = 0.99$

イ. 個 別 格 差 : 方位 角地 個別格差
 $1.06 \times 1.05 = 1.11$

ウ. 地 積 : 登記数量による

エ. 建 付 減 価 : 0.90 (建物と敷地との適応の状態、建物の老朽化等を考慮)

(2) 建物価格 (物件 2)

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物価格(円) ア×イ×ウ
2	150,000	178.19	0.04	1,069,000

ア. 再調達原価 : 150,000 円/㎡ (太陽光発電システムを含む)

イ. 現況延床面積 : 約 178.19㎡

ウ. 現価率

耐用年数に基づく方法 (定額法) と観察減価法を併用し、現価率を査定した。

経過年数 39 年、経済的残存耐用年数 0 年、残価率 5 %

観察減価法による補正 (基礎部分・外壁の亀裂、雨漏り跡等▲20%)

現価率 = {残価率 5% + (1-5%) × (0年/25年)} × (1-20%) = 0.04

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

番号	建付地価格(円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格(円) ア×イ
1	14,099,000	法定地上権	0.45	6,344,000

イ. 土地利用権等割合：土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を45%と査定した。

② 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる価格 (円) ア	土地利用権等価格 の控除及び加算(円) イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修正 エ	競売市場 修正 オ	評価額(円) (ア±イ)×ウ ×エ×オ
1	14,099,000	－ 6,344,000	1.00	1.00	0.70	5,420,000
2	1,069,000	＋ 6,344,000	1.00	0.89	0.70	4,610,000
一括価格(合計)						10,030,000

ウ. 占有減価修正： 必要なし

エ. 市場性修正： 物件1・・・ 必要なし

物件2・・・ 建ぺい率、容積率超過の可能性を考慮 ▲10%

猫による動物臭の可能性等を考慮 ▲1%

($0.90 \times 0.99 = 0.89$)

オ. 競売市場修正： 前記「第2 評価の条件」欄記載の競売市場の特殊性による修正

但し、評価額は万円未満切捨てとする。合計が1万円未満のときは、千円未満切捨てとする。

第6 参考価格資料

- 1 地価調査価格 鹿児島ー17
所 在 : 鹿児島市田上台4丁目2501番38
価 格 : 72,000 円/㎡
位 置 : 田上団地中央バス停 200m
価 格 時 点 : 令和6年7月1日
地 積 : 167 ㎡
供給処理施設 : 水道・ガス・下水
接 面 街 路 : 南 6m 市道
用 途 指 定 等 : 市街化区域 第一種低層住居専用地域
(建ぺい率50%、容積率80%)
地 域 の 概 要 : 中規模一般住宅が多い既成住宅地域

2 固定資産税評価額 (令和6年1月1日)

物件1	10,208,613	円
物件2	1,780,896	円

第7 附属資料

- 1 受命物件の位置図
- 2 住宅地図写し (ゼンリン住宅地図 鹿児島市202209)
- 3 公図写し
- 4 建物図面・各階平面図写し
- 5 土地建物位置関係図
- 6 建物間取図
- 7 現況写真

以 上

位置図



公 図 写



地番区域見出し
田上台4丁目
田上台3丁目

請求部	所在	鹿児島市田上台四丁目				地番	2500番36			
出力縮尺	1/500	精度区分	甲一	座標系番号又は記号	II	分類	地図(法第14条第1項)		種類	法務局作成地図
作成年月日	平成17年3月28日				備付年月日(原図)			補記事項		

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。
(鹿児島地方法務局管轄)
令和6年12月2日
福岡法務局

請求番号：45-1
(1/1)
登記官

A 3判を A 4判に縮小

建物図面・各階平面図写

登記年月日：昭和62年2月27日

107769

各階平面図

房屋番号

2500-36

圖面 圖面 階平 各建

鹿兒島市田上台丁目2500番地36

62. 2. 27.

(日加納)

作者

縮尺 $1/250$

申請人

縮尺 $\frac{1}{500}$

(日本土地家屋調査士会連合会用紙)

請求番号: 45-2

A 3判をA 4判に縮小

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
(鹿児島地方法務局管轄)
令和6年12月2日 福岡法務局

令和6年12月2日 福岡法務局

登記簿

(日調連12)

隨
一

階
2

各階平面図

面
圖
建
物

物件 2

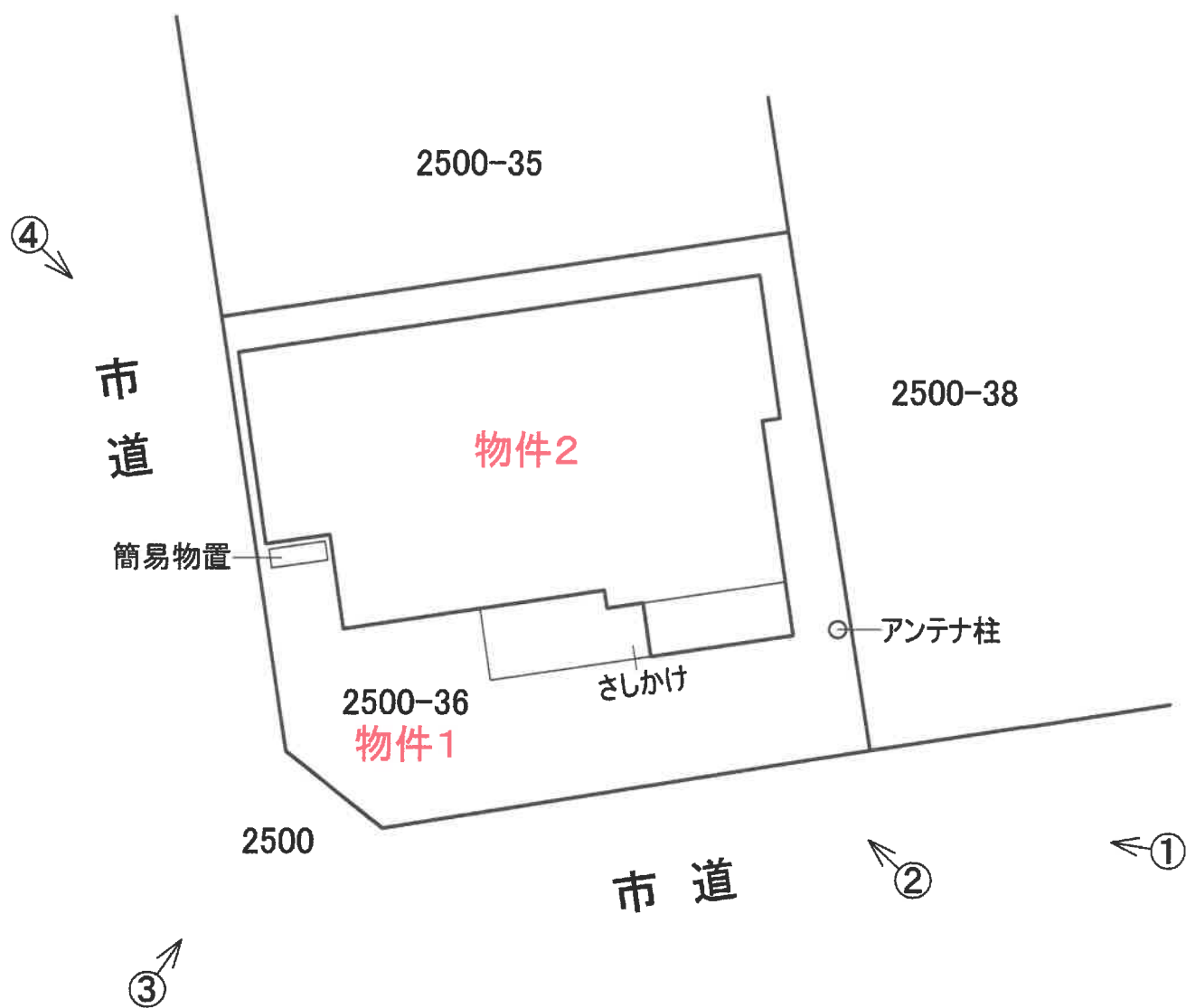
道 路

道 盛

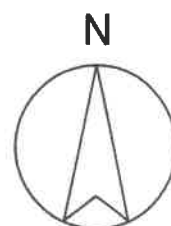
$$\begin{array}{r} 17.6700 \\ 78.8900 \\ 38.35625 \\ 1.8050 \\ \hline 86.71125 \\ \div 86.71 \text{ m}^3 \end{array}$$

1	28K	x	04K	=	1.28ZF
2	380	x	47K	=	18.0400
3	5.70	x	29K	=	16.245K
4	1.90	x	0.49K	=	.90ZF
					36.4800
					± 36.48 m

土地建物位置関係図

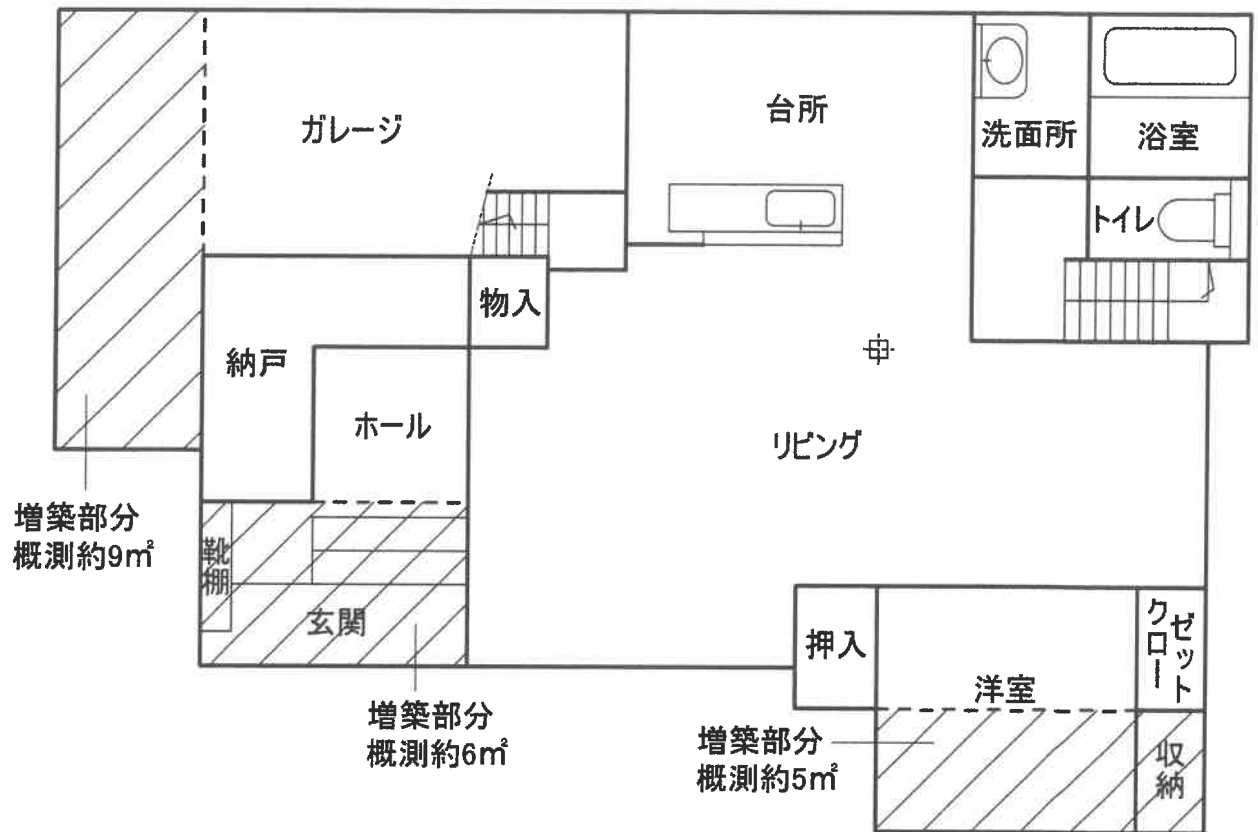


※ 本図面は概略図であり、正確なものではありません。

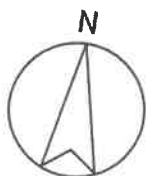
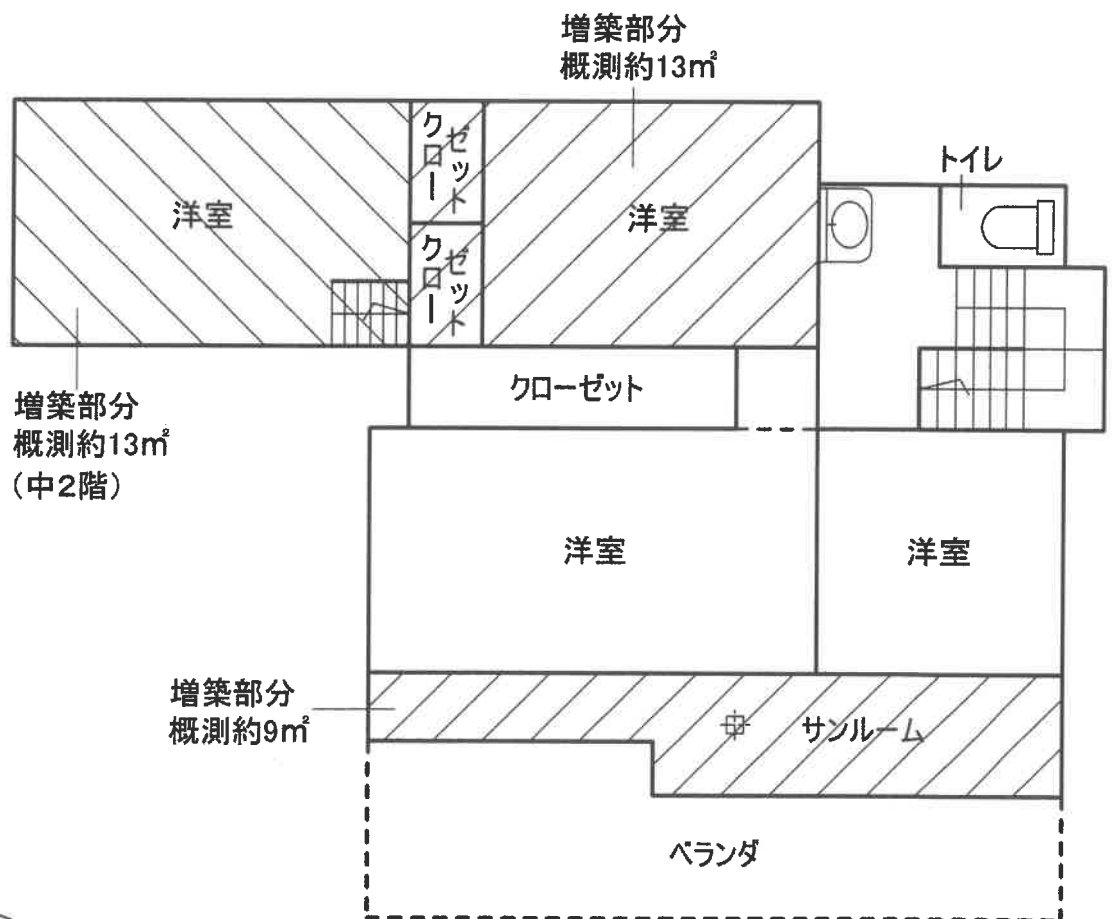


建物間取図

1 階

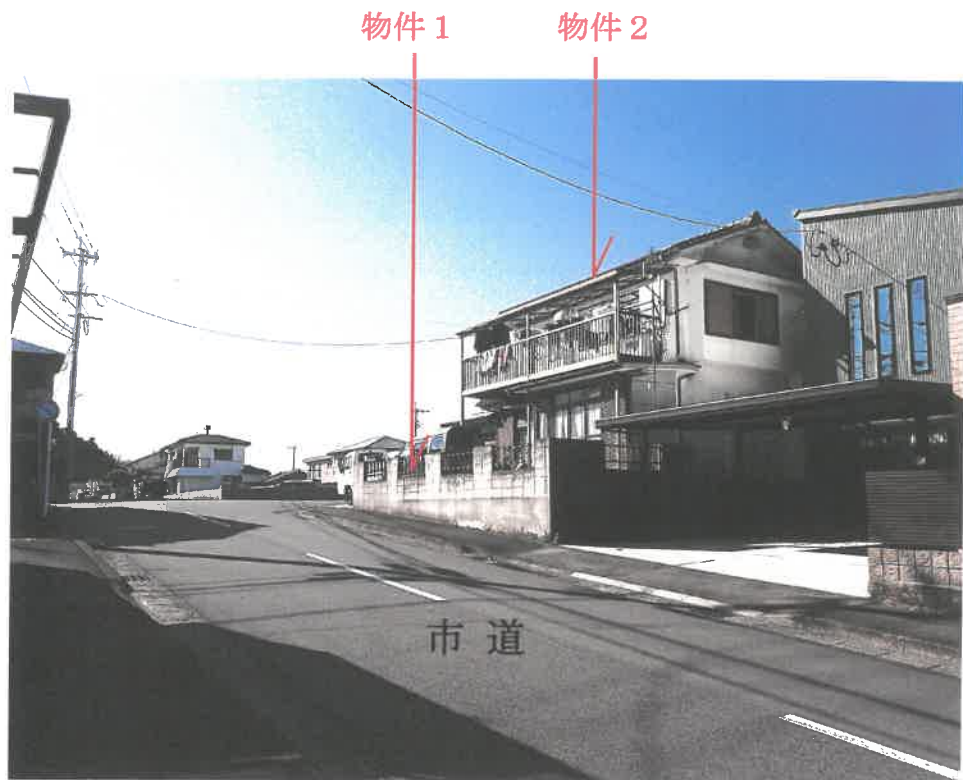


2 階



※ 本図面は概略図であり、正確なものではありません。

現況写真



カメラ位置 ①



カメラ位置 ②



カメラ位置 ③



カメラ位置 ④



基礎部分の亀裂



天井の雨漏り跡